

使徒の働き 第4章 12節

「この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。」

電子顕微鏡でしか見えないウイルスの脅威が各地で続いている。普段の生活では捉えがたい、視力をはるかに越えて、見えないまま蔓延している感染症である。現在のところ人の手におえない新型ウイルスが人から人へと感染している。様々な症状に、医療従事者の懸命な努力がはらわれている。時の経過とともに適切な治療法や治療薬が開発されてくることを願う。人類の叡智が結集されて病を克服できるように期待するばかりである。

一連の出来事で教えられるのが、霊の目でしか認めることが出来ない罪と似ていることである。罪の病は全世界をすでに覆っているにもかかわらず、人は見えないから無視している。社会に罪の症状が現われる。罪の病にうすうす気づきながらも認めたくないのが実状である。

罪の病の治療は人の手ではかなわない。世界で蔓延する感染症とは決定的に異なる。癒しの道は、ただ主イエス・キリストの十字架を仰ぐだけである。神に背いた罪からの救いは、父なる神が御子イエス・キリストによって開いてくださった救いの道に与ることだけである。